



北海道議会議員

2024年 春号

No.19

き ば じゅん

木葉淳 道政報告



新年度予算

3兆215億円!

道議会は2/21～3/19の間、本年度第1回定例道議会を開催し、新年度予算・本年度補正予算等を議決しました。(右記参照)

冒頭、鈴木知事は、新年度の道政執行方針において「北海道の潜在力を発揮させる」とし、そのキーワードは「地域」と「世界」と強調しました。

新年度は、この先10年間の道政運営の方向性を示す新しい「北海道総合計画」のスタート年となります。全国よりも速いスピードで進む人口減少や少子化への対策、昨年末に閣議決定した「こども大綱」を具現化する「こどもまんなか社会」の実現や若者への支援を積極的に進めていく年となります。

加えて、導入をめざす宿泊税や、JR路線維持、働き手不足や働き方改革、価格の適正化と労働者の賃金上昇等課題は山積し、早期の解決や実効性のある取組みとなる予算案となるよう、会派を代表し、私から組み替え動議を提出いたしました。(少数否決)

原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場について知事は、「道内に受け入れる意思がないとの考えにより制定された条例を順守する」とあらためて表明しました。



主な2024年度予算

1. 安心して住み続けられる地域に

(1) 安心安全の確保

① 防災訓練費

- 道路等破損を想定した物資輸送訓練の実施
- 厳冬期避難所運営・宿泊演習の実施
- 北海道地域防災計画、マニュアルの見直し



② 野生鳥獣被害対策事業

- ヒグマ出没と捕獲対策強化と動物愛護
- 狩猟者確保・育成、有害鳥獣駆除



⇒ 45億円

(2) 誰もが暮らしやすい生活環境

- こどもの意見反映推進事業
- 保育士・保育所支援事業
- 出産・子育て応援事業



⇒ 479億円

2. 北海道の魅力を世界へ

(1) 未来に向けた産業・人・投資

- 半導体産業に係る複合拠点化事業
- 海外からの未来産業・DX/GX投資促進
- 洋上風力など再生可能エネルギーの活用促進



⇒ 137億円

(2) 日本を支え世界に広げる食

- 未来を創る北海道フードアグリ発信事業
- 飼料生産基盤フル活用事業
- 対中輸出転換事業



⇒ 156億円

(3) 観光立国北海道の再構築

- AT(アドベンチャートラベル)推進事業費
- ATガイド人材育成・能力向上事業
- 観光人材発掘事業



⇒ 18億円

KIBA 第1回定例道議会 予算特別委員会より KIBA

防災対策について



Q 自衛隊等との情報共有の見直しは？

A 各自治体のシステムは独自に整備を進めてきたため、国と連携しておらず、新システムを令和6年度中に運用開始する。

Q 厳冬期の備蓄対策は？

A 市町村の備蓄量は「物資調達・輸送調整等システム」で把握し、調達が困難な場合に備え、民間事業者と協定を締結、各振興局にも備蓄を行っている。



私の考え

能登地震では県と関係団体の情報共有ができず初動対応が遅れました。先行して孤立集落等に入った自衛隊やDMATが把握した情報の共有が何より重要です。情報共有システムの整備が急務です。また、災害避難所は国際基準である「スフィア基準」に準じた環境をめざすべきです。

公共交通利用促進策について



Q 潜在需要の掘起しが必要では？

A 日常的な利用者の増加を図る実証事業等、鉄道活性化協議会の取組みと地域の連携による相乗効果を図り取り組む。

私の考え

そもそもバスや鉄道に乗ったことのない方々への利用促進に向け、無料で公共交通を利用できる期間を設ける等、新たな取組みが必要です。

ヘルパー支援について

Q 特別なコミュニケーションを必要とする方の入院時のヘルパー支援は？

A 新型コロナウイルスなどの院内感染対策として認められないことがあったが、全ての病院に事務連絡を発出し周知した。

私の考え

誰もが安心して医療を受けられる体制が欠かせません。



KIBA JUN'S フォト



木葉 淳(きば じゅん) 53歳

- 出身 函館市 住まい 江別市大麻新町
- 職歴 北海道教育大学卒業後 江別第二小学校や対雁小学校等 小学校教員として25年勤務
- 所属 農政委員会、人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会
- 趣味 ファイターズの応援
- E-mail kibajun0814@gmail.com

『政策懇談会』のご案内

- 【とき】 6月9日(日) 14~15時
- 【ところ】 江別市中央公民館(コミュニティセンター) 江別市3条5丁目11-1
- 【内容】 政策課題等に対する意見交換
- 【その他】 参加費無料・事前申し込み不要 江別市議会議員も参加予定

お気軽にお越しください